

特許出願公告及び特許抜萃

公告抜萃

材料熱處理装置 (14年特許公告第341號, 公告14-1-30, 東京市, 株式会社芝浦製作所) 坩堝内の浴面の高さとは無關係に材料の浴中に於ける深さ及浸漬時間的に制御せしめ得べくせる操作簡單にして作動確實なる材料熱處理装置を得る目的を以て熔融浴と材料を下降して該浴に接觸せしめ浴中に熱處理する装置と前記材料及浴の接觸により閉成する様配置せる回路と該回路の閉成に依り制御せられ材料を豫定せる距離だけ前記浴中に下降せしむる装置とより成る材料熱處理装置。

放電装置 (14年特許公告第344號, 公告14-1-30, 川崎市, 東京電氣株式会社) 過熱に依る陽極の崩壊を無からしめ且有害なるガスの放出を阻止せんとせる目的を以て複数の協働電極と該各電極を收容せる密閉金屬とより成り該容器は黒化せる内面を具備する事を特徴とする放電装置。

電氣點熔接法 (14年特許公告第345號, 公告14-1-30, 大阪市, 大阪電氣株式会社) 表裏両面に補強材を完全に且確實に熔接せしむると共に熔接痕跡を認め難く體裁よき構造物を得んとする目的を以て薄鐵板製家具又は扉等の如き表裏両面の鉄間の距離小なる鐵構造物の表裏両面鉄間に補強材を各一點づゝ同時に熔着せしむるに當り補強材を兩側より導電體を介して支持體にて挾壓して支持し且つ兩熔接點間を通すべき熔接電流の大部分をして前記導電體内を通せしむべくしたる電氣熔接法。

電氣熔接装置 (14年特許公告第346號, 公告14-1-30, 京都市, 岡本起) 簡單なる手段に依り負荷電流半波數の奇偶に拘らず常に電流遮断の際の半波と通電開始の際の半波とを逆符号ならしむる如く電氣熔接装置を得んとする目的を以て交流電源と負荷回路と前記電源及負荷回路を連繫する並列逆接續の電氣弁とを有し前記電氣弁の各制御極回路に負荷側に於ける電壓により制御せらるる放電管を各並列に接續し該放電管の放電に依り電氣弁の制御極電壓を臨界以下に保持せしむべくしたることを特徴とする電氣熔接装置。

高周波振動發生装置附電弧熔接装置 (14年特許公告第347號, 公告14-1-30, 京都市, 岡本起) 熔接回路の電壓變動を利用し機械的装置を含む事無く高周波振動の必要時のみ短時間自動的に高周波振動を發生し確實に熔接作業を遂行し得べき此種電弧熔接装置を得んとする目的を以て熔接回路又は該回路電壓に順應する回路を電源とし熔接端子を負荷とする高周波發生装置の回路に直列に陽特性を有し且電流通過に依る抵抗値の變化特に大なる抵抗體を挿入し前記高周波發生装置に依り發生する高周波振動勢力が熔接電弧の消滅と同時に發生し以て熔接電弧を再生せしめ定常無負荷状態に移れば前記抵抗増大に依る高周波振動發生装置回路の電壓降下により之を終熄せしむべくしたることを特徴とする高周波振動發生装置附電弧熔接装置。

抵抗熔接装置 (14年特許公告第348號, 公告14-1-30, 京都市, 岡本起) 簡單なる装置に依り通電時間の制御及調整の容易且確實なる抵抗熔接装置を得んとする目的を以て熔接電流制御用主放電管の作働時間を制御すべき制御装置として熔接電流電源と一定位相關係にある單相交流を整流して得らるる間歇的電流に依りて作働せらるる同期回轉接觸子を有する開閉装置を使用したることを特徴とする抵抗熔接装置。

電氣抵抗熔接と鐵付とを同時に行ふ方法 (14年特許公告第349號, 公告14-1-30, 東京市, 安立電氣株式会社) 電氣抵抗

熔接機を以て強固に熔接を行はんとする目的を以て金屬線又は金屬帶を熔接するに當り熔接すべき金屬に接觸せしむべき2個の電極棒の内上部位置の1個は金屬鐵例へば銀鐵を以て代用せしめ熔接と鐵付とを同時に行ふことを特徴とする電氣抵抗熔接と鐵付とを同時に行ふ方法。

電氣弁に依る電氣回路制御装置 (14年特許公告第350號, 公告14-1-30, 東京市, 三菱電機株式会社) 電氣回路の制御を確實に行はんとする目的を以て電氣回路に制御電極付電氣弁の複數個を直列に挿入し夫等電氣弁の制御電極には正弦波交番電壓を加ふべくなし且夫等交番電壓の位相は之を互に異ならしめ夫等位相の重疊時に前記複數個の電氣弁を同時に通電状態ならしむべくせる電極弁に依る電氣回路制御装置。

鋼塊鑄造用鑄型の底型 (14年特許公告第359號, 公告14-2-6, 神戸市, 梅澤光三郎) 鋼塊底部の熔鋼に於て造泡反應を造砂反應に轉することを砂疵及紐狀ゴースト線の何れをも増さざる如く行ふ目的を以て鋼塊鑄造用鑄型の底型の上面に於て鋼塊と接觸する部分の前面に耐熱性斷熱材料を裏付け且其の耐熱性斷熱材料の上表面中落込部以外の所は本體鑄型の底端面に對する角度が 10° 以下なる錐體面の一部をなす如くせることを特徴とする鋼塊鑄造用鑄型の底型。

アルミニウム合金 (14年特許公告第377號, 公告14-2-6, 東京市, 日本火工株式会社) 原特許に對し抗張力大にして且延伸率も亦概ね大なるAl合金を得んとする目的を以てMg 2~5%, Zn 6~14%, Fe 0.1~1.5%, Si 0.1~1.0%, Cu 0.2~2.5%, Ni 0.1~1.5%, Li 0.3~1.0%, 及殘部Alを含有するAl合金。

熔接棒 (14年特許公告第378號, 公告14-2-6, 關東州, 南滿洲鐵道株式会社) 表面を特に脱炭せしむることに依りて電氣又はガス熔接の場合に熔接操作を容易ならしめ又熔接部分の健全性を増しむる熔接棒を得んとする目的を以てCu 0.3%以下, P及S各0.1%以下の鋼に於てC及Si各0.35%以下の外に更にMn 0.8%以上1.4%及(又は)Al, V, Cr, B, Ti, W, Mo及Zr元素の一種又は一種以上の各0.1%~0.4%を同時に含有せしめ且其の素面を脱炭せしめたることを特徴とする熔接棒。

簡易金及銀鍍金方法 (14年特許公告第379號, 公告14-2-6, 東京市, 寺田正一, 外二名) Alを水酸化物として反應相外に沈澱せしむる事を特徴とする從來一般の鍍金方法の如き不便の點又は不完全の點少く甚だ簡單迅速に鍍金の目的を達し得る目的を以て被鍍金屬例へば銅と大なる電位差を有するAlの如き第三の金屬を右被鍍金屬と接觸せしめて之を金或は銀の錯鹽のアルカリ性としたる溶液中に浸漬し鍍金をなすに當りアムモニアを以てアルカリ性とすことを特徴とする簡易なる金又は銀鍍金方法。

マグネシウム及マグネシウム合金鑄造用鑄型材料 (14年特許公告第427號, 公告14-2-10, 佛蘭西國, ジャン, パブラス, デュラン) 砂セメントを主成分とするを以て不熟練者にてても何等危險を伴ふ事無く簡單に鑄造作業を行ひ得るのみならず鑄造後に於ける鑄型は堅牢にして冷却し易く冷硬用金屬鑄型(チルモールド)の代りに使用し得るMg及Mg合金鑄造用鑄型材料を提供せんとする目的を以て砂とセメントとの混合物を略水とせしむる分量の水と硫黃粉との混合物より成ることを特徴とするMg合金鑄造用鑄型材料。

ドラム罐熔接装置 (14年特許公告第437號, 公告14-2-10,

東京市、中村秀三) 操作簡易熔接簡便確實にして熔接部以外を損傷する事なからしめ得る目的を以て臺枠に上下自在に設けられたる縦軸の上端に罐受内輪とく字状屈曲外周縁とを有する載盤を水平廻軸自在に支持せしむると共に該臺枠上に對向突設したる支柱の各上端部に支持せしめたる挾持桿を夫々挺子桿に連繋せらるる連動桿を介して移動せしめ以て前記載盤上のドラム罐を挾持開放自在となし又前記縦軸には其上下用挺子桿を關聯せしめ更に包被胴輪を以て熔接部を挾持せしむべくしたる事を特徴とするドラム罐熔接装置。

亜鉛鍍金工業に副生するザルアンモニアックスキンミン
グ処理法 (14年特許公告第442號, 公告14-2-10, 東京市, 日本製鍊株式會社) 安價なる原料たるザルアンモニアックスキンミンを夫々其含有する成分に應じて有利に處理することに依り質純良なる水酸化亜鉛又は酸化亜鉛, 鹽化アムモニウム, 硫酸アムモニウム, 鹽化亜鉛, 硫酸亜鉛を容易に生ぜしめ工業的に頗る有効に利用することを得べからしむる目的を以て亜鉛鍍金工業に副生するザルアンモニアックスキンミンに其中に含有する鹽化アンモニウムに對し略當量の酸化亜鉛を加へ加熱熔融してアンモニアガスを遊離氣散せしむる工程と其殘滓を溫湯にて處理し鹽化亜鉛を浸出濾別する工程と濾滓は更に硫酸處理に依り硫酸亜鉛として抽出する工程を斯くして得られたる鹽化亜鉛又は硫酸亜鉛にザルアンモニアックスキンミンより遊離し來るアンモニア瓦斯を中和點に達するまで作用しめて水酸化亜鉛を得ると共に鹽化アンモニウム又は硫酸アンモニウムを生ぜしむる工程との結合を特徴とするザルアンモニアックスキンミン処理法。

粉鑛の固定式瓦斯處理裝置 (14年特許公告第451號, 公告14-2-10, 神戸市, 梅澤光三郎) 砂鐵或は紫鑛の如き粉狀の鑛石或は粉狀となされたる鑛石に對し加熱, 酸化或は還元等の處理をガスを以て簡易迅速且連續的に行ひ得べき固定式裝置を得んとする目的を以て兩邊共其の外面に柵を有し且其の柵の上方及邊の下端に沿ひて邊の下面より上面に通ずる孔及溝を夫々多數穿ちある肉厚き二等邊山形材を其の角部を上にして直立筒内に積み重ね筒の頂部より粉鑛を裝入し筒の下口より生ガスを送入し山形材の角部に形成せらるる溝に溜りたる粉鑛が山形材の邊の面に沿ひて滑降し來るを山形材の邊に設けある孔より吹き出す瓦斯に依り隣接山形材の邊を以て形成さるる菱形空腔の中に吹き飛ばしたる瓦斯を更に一段高立の菱形室腔内に吹き出さしむるが如き過程を山形材積の中に於て繰り返したる後粉鑛を下底にガスを上口に到着せしむることを特徴とする粉鑛の固定式ガス處理裝置

合金鋼 (14年特許公告第452號, 公告14-2-10, 愛知縣, 株式會社豊田自動織機製作所) 抗張力高く且つ靱性大にして $Ni \cdot Cr$ 鋼に遜色無き特殊合金鋼を容易に得んとする目的を以て $C \ 0.26 \sim 0.45\%$, $Ti \ 0.10 \sim 4.0\%$, $Cr \ 0.6 \sim 6.0\%$, $Cu \ 0.6 \sim 6.0\%$, $Mn \ 1.0 \sim 6.0\%$ と殘部鐵及び其の不純物を含有せる事を特徴とする合金鋼。

Mg 及其の合金の防蝕方法 (14年特許公告第453號, 公告14-2-10, 東京市, 古河電氣工業株式會社) 耐蝕性特に耐海水性大にして均一なる組織を有する防蝕皮膜を目的物の表面に形成せしむることに依り斯種合金の耐蝕性を改善すると共に Zn, Cl 等の金屬を電鍍せしめ得べき優良なる素地を形成せしめんとする目的を以て硫酸亜鉛別酸アンモニウム及過硫酸アンモニウムの混合溶液中に目的物を適當時間浸漬することを特徴とする Mg 及其の合金の防蝕方法。

粉鑛還元廻轉磁場誘導電氣爐 (14年特許公告第489號, 公告14-2-10, 東京市, 大西進八郎, 外二名) 充填せられたる粉末鑛

石及還元劑中を容易に還元ガスを通過することを得せしめ任意に還元劑及風を補給することに依りて消費電力を節減すると同時に鑛石の還元率を良好ならしむる目的を以て多相交流電源による各相間に一定の電磁極と磁路とを設けたる廻轉磁場内に還元室を設け此の室内に在る粉鑛を本磁場の爲に起る誘導電流によりて起る熱に依りて還元すると同時に室内に裝置せる羽根を有する廻轉筒を本磁場の回轉力によりて回轉せる事に依りて通風を容易ならしむると同時に還元物を下方に押し下す事を特徴とする粉鑛還元廻轉磁場誘導電氣爐。

泡立選鑛機 (14年特許公告第499號, 公告14-2-15, 東京市, 三菱鑛業株式會社) 翼盤間に於ては充分なるレタイヴスピードを得るにも不拘各翼盤は夫れの廻轉數を著しく減じて動力の節約を爲し得且つ鑛泥流に急激なる流動方向の變化を與ふることに依り激しきキャピテーションを起生せしめて泡立作用を増大し而も翼盤の廻轉數を減ずることに依り放出流緩慢にして既生泡を消去すること無き能率高き泡立選鑛機を得んとする目的を以て多數の垂直杆が一連して植立せられたる二個若くは夫れ以上の同心翼盤を交互に相反する方向に廻轉せしむる様にして成ることを特徴とする泡立選鑛機。

ドラム罐厚層滲鉛裝置 (14年特許公告第501號, 公告14-2-15, 東京市, 松井武雄, 外一名) ドラム罐に任意の厚さの滲鉛厚層を迅速確實に形成せしめ得る機構及取扱の容易なるものを得んとする目的を以て支柱を有する臺枠上に保温壁より成る筒枠を架載し其の外部にドラム罐を定置して之と該筒枠との間に滲鉛室を形成せしめ且該支柱上部に緊締環により上下位置を調節し得る如く取付枠を着脱自在に取付け之をドラム罐に連繋して該罐を臺枠上に密着せしめ又は熔融鉛を滲鉛室内に收容して罐面に鍍金せる後上方に移動して罐下側と臺枠との間に間隙を形成せしめ之より滲鉛室内の鍍着せざる過剩熔融鉛を流出排除せしむべくせるを特徴とするドラム罐厚層滲鉛裝置。

廻轉管狀爐の中腹に於ける給氣裝置 (14年特許公告第526號, 公告14-2-15, 東京市, 日本特殊鋼管株式會社) 廻轉管狀爐の操業中其の中腹より空氣を常に高效率に供給し得る裝置を得る目的を以て廻轉管狀爐の中腹に固定したる廻轉空氣管の左右兩縁に彈性フランジを連設し之を圍繞し之と同心に機臺に進退自在に支持したる進退空氣管の左右兩縁のフランジと前記フランジとの弾接面に纖維狀石棉及黒鉛を介せしめ廻轉空氣管と進退空氣管との間の摩擦及空氣漏洩を尠からしめたる廻轉管狀爐の中腹に於ける給氣裝置。

硫黃貧鑛處理法 (14年特許公告第527號, 公告14-2-15, 兵庫縣, 長谷川博) 從來利用困難とされ來れる硫黃貧鑛を有利に處理し硫黃精鍊に充分使用せらるべき高度硫黃含有粉末及ゴム配合劑各種充填劑型物材料建築材料等其他の目的に適するコロイド狀粘土系物質を夫々別々に且つ同時に得んとする目的を以て硫黃貧鑛を粉碎し同時に水篩を行ひたる後電氣泳動法處理に依り容易に高度含有硫黃粉末と夾雜物とを分離採取する硫黃貧鑛處理法。

インゴットケース (14年特許公告第528號, 公告14-2-15, 大阪市, 榎本角右衛門) 加熱に對する膨脹並に收縮を自由ならしめ優秀なるインゴットケースを得んとする目的を以て

$C \ 3.0 \sim 3.8\%$ (化合炭素を 0.6% 以下とす)

$Si \ 0.3\%$ 以下 $Mn \ 0.8\%$ 以下 $Cr \ 0.1 \sim 0.5\%$ Fe 殘餘より成るインゴットケース。

鑄型用材料 (14年特許公告第571號, 公告14-2-18號, 東京市, 飯塚定次) 乾燥速かにして克く原形を保ち氣抜可良なるのみな

らず殊に鑄造後に於ける除砂容易なる鑄型用材料を得んとする目的を以て其の他任意の鑄型成形用基劑とビスコースの結着劑とより成る鑄型材料。

金屬鐵を採取の砂鐵鑄滓よりクロム及びヴァナヂウム・アルミニウム等の酸化物を回収し併せて純白チタニウム顔料の原料を得る方法 (14年特許公告第584號, 公告14-2-18, 堺市, 堺化學工業株式會社) 從來價值無きものとして放棄せられたる前記金屬の採取の砂鐵鑄滓を活用し之より着色原因をなす Cr, V, Al 等の酸化物を回収すると同時に白色度大なる Ti 顔料原料を容易に得んとする目的を以て常法に従ひ砂鐵を還元處理し金屬鐵を分別して得らるる鑄滓を原料とし之に曹達灰を加へ酸化焙燒後水にて浸出し浸出液と其の殘渣とに分別する工程と浸出液にアルカリ又はアルカリ土類金屬の硫化物溶液を加へ加熱し Cr 分を水酸化クロムとして沈澱分別し其の濾液に炭酸ガスを通し Al 分を水酸化物の形に於て沈澱分別せしめ更に必要あらば其の濾液に鹽化アモモニウムを添加し V を沈降せしめ此等沈澱物を夫々取得する工程と一方前記殘渣は之を常法に基き Ti 顔料原料を得る工程との結合を特徴とする金屬鐵を採取の砂鐵鑄滓より Cr 及 V, Al 等の酸化物を回収し併せて純白チタニウム顔料原料を得る方法。

アルミナ精製法 (14年特許公告第585號, 公告14-2-18, 東京市, 東京工業試験所) 價値少き不純アルミナより有用なる純アルミナを簡便經濟的に得んとする目的を以て主として珪酸を不純物とする化學的變化を経て得たる不純アルミナ若くは不純水酸化アルミナを 900~1,400°C に燒成し然る後之を苛性アルカリ又は炭酸アルカリ溶液を以て常壓又は加壓の下に處理し珪酸のみを溶解除去し或は原料中比較的珪酸多き場合は更に酸液を以て處理し一部残りたる珪酸を溶解除去し殘滓に純アルミナを得ることを特徴とする不純アルミナより純アルミナを得る方法。

高温爐の裏装を保護する方法 (14年特許公告第588號, 公告14-2-18, 朝鮮, 日本マグネシウム金屬株式會社) 有效確實なる方法に依りて高温爐の炭素裏装を水素の侵蝕に對して保護せんとする目的を以て炭素裏装を施せる爐を水素雰囲気を保ちつつ操業するに際し水素に依る裏装の侵蝕を防止するに當り操作溫度に於て水素及び炭素と平衡に在るが如き量のアセチレンを水素に混加することを特徴とする高温爐の炭素質物裏装を水素の侵蝕に對して保護する方法。

鍍中のタングステンの回収方法 (14年特許公告第589號, 公告14-2-18, 東京市, 三菱鑛業株式會社) 簡單なる操作に依りて有利に鍍中の W をフェロ、タングステン製造原料として適する形に於て回収せんとする目的を以て W を含有する鍍をアルカリ鹽類と共に焙燒し焙燒物を湯滲を以て抽出する公知の方法に依りて得られたる溶液に少量の過酸化水素を添加し又は添加する事なく空氣を吹込て生ずる沈澱を濾別して後濾液に鹽酸を注加して溶液の鹽基度を 0.1~0.3 規定なる如く調節し之に鹽化カルシウムを添加して含土タングステン酸カルシウムを得る方法。

焼入硬化性、焼戻硬化性又は自硬性を有する超高硬度銅合金 (14年特許公告第590號, 公告14-2-18, 横濱市, 海軍大臣) 熱處理によりて著しく大なる硬度を得られ耐磨耗性及耐蝕性極めて優秀にして且機械的性質も亦頗る良好なる銅合金を得る目的を以て Al 4.5~15%, Mn 0.1~22%, Fe 0.01~1.5%, Co 0.01~1.0%, Si 0.01~2.0%, Zr 0.01~2.0% 及之に Mg, Cd, Mo, Br, Cr, Ti, V, As の1種若くは2種以上を 1.0% 以下添加し殘餘として銅を合

有する焼入硬化性、焼戻硬化性又は自硬性を有する超高硬度銅合金。

鑄塊製造鑄型内面塗料 (14年特許公告第591號, 公告14-2-18, 神戸市, 坂井幸次郎) 此の塗料を鑄型の内面に塗布したる後熔鋼或は熔銅を注入するに當り其の熱により本塗料より發生するガスの作用に依りて脱酸作用を完全にし鑄塊の肌を優美且平滑ならしめ鑄型よりの離脱を容易圓滑ならしむると共に鑄型の壽命を永く保持せしめんとする目的を以て天然又は人造アスファルト凡そ 35~40 分を凡そ 230°C 以上の高温にて加熱したるものを溶劑に溶解して得たるものに中間縮合のフェノール樹脂凡そ 2~3 分を混和せしめたる鑄塊製造鑄型内面塗料。

繼目熔接装置 (14年特許公告第627號, 公告14-2-18, 東京市, 株式會社日立製作所) 電流斷續装置を使用することなき實用的繼目熔接装置を得る目的を以て齒車型となしたる回轉型熔接電極組の複數組を相互に齒部の位相を異にして一列をなす如く配置せることを特徴とする繼目熔接装置。

自動熔接装置 (14年特許公告第628號, 公告14-2-18, 東京市, 株式會社芝浦製作所) 先づ熔接體を相接せしめ次に離間して所謂端面放電フラッシュを發生せしめ爾後上記端面放電を繼續すべく熔接體の一方又は双方を進退せしめ熔接體の熔接面が適當に赤熱となり平滑面に校正せられ且熔融に近く軟化するに至れば始めて強壓を以て熔接體を壓接し熔接を完了する操作を全自動的になし得る装置を得る目的を以て熔接電路の電氣狀態の變化に應動する繼電装置と熔接體を移動せしむる原動装置と前記繼電装置の作動に依り熔接體の前進移動方向を變換後退せしめる装置と熔接體の接合面が豫定狀態に到達せる後は前記繼電装置に無關係に熔接體を前進推動する装置とを具備する自動熔接装置。

金屬鈹壓展装置 (14年特許公告第660號, 公告14-2-20, 東京市, 佐々木くら) 金屬鈹を其の幅の方向に容易迅速に伸展せしめんとする目的を以て順次壓搾面を大ならしめたる一對宛の金弧狀面を有する加壓轉子間に圓筒形の平均したる轉子を配し該轉子の兩端縁に金屬鈹の兩端縁を挾持する挾持溝を夫々具へしめ且各轉子間の兩側に挾持溝と等形の案内溝を設け以て金屬鈹の兩端縁を折曲げて之を案内溝内に緩合せしめて加壓轉子及平均轉子の兩端縁に支持せしめて中部を圓弧狀に壓延なし後平鈹に復せしめ之を反覆して薄鈹になすを特徴とする金屬鈹壓展装置。

高周波併用電弧熔接装置 (14年特許公告第697號, 公告14-2-20, 京都市, 岡本赴) 高周波の動作を強力有效ならしめ安定なる電弧を得んとする目的を以て高周波回路に負荷と並列に蓄電器及インダクタンスを直列に接続したる補助回路を設けたることを特徴とする高周波併用電弧熔接装置。

電氣熔接装置 (14年特許公告第698號, 公告14-2-20, 東京市, 逓信大臣) 熔接操作前の有害無益なる短絡電流の流通を除去すると共に鐵材料を節約し熔接變成器の力率並に電壓變動率を良好ならしめ大電流熔接に於ても満足に作動すべき電氣熔接装置を得る目的を以て電氣瓣を用ひ交流電源に依り電氣熔接を行ふべく少くとも三脚の鐵心を備ふる變成器と前記鐵心の一脚に巻れたる勵磁巻線及熔接巻線と前記鐵心の他の一脚に巻れたる制御巻線と前記熔接巻線に接続せらるる熔接回路と前記制御巻線に作動すべくせる電氣瓣とを有し前記電氣瓣を導電性ならしむる期間のみ熔接回路に熔接電流を流通せしむべくし前記電氣瓣を導電性ならしめざる期間に於ては交流電源に依り前記制御巻線の巻かれたる鐵心脚に於て該制御巻線の生ずる起磁力の方向を前記勵磁巻線の生ずる起磁力の方向と相

反せしむることに依り前記兩巻線の交流電源に対する電壓分布を著しく變化せしめて前記勵磁巻線に於ける勵磁電壓を零に近からしめ前記電氣辦を導電性ならしむる期間に於ては特に前記勵磁巻線と前記熔接巻線との相互漏洩磁束を僅少ならしむべく前記兩巻線を同一鐵心脚に巻くことを特徴とする電氣熔接装置。

電弧熔接用被覆電極棒 (14年特許公告第699號, 公告14-2-20, 東京市, 清水一雄) 配合藥品の種類極めて少數なれども電弧安定且つ使用極めて容易にして軟鋼材を熔接したる際熔接部の抗張力充分なる上特に伸長量大なるものを得んとする目的を以て酸化チタニウム約60% 二酸化マンガン約10% 重炭酸ナトリウム約30%を成分とする固練劑を使用することを特徴とする電弧熔接用被覆電極棒。

特許抜萃

特許 番號	名 稱	特許 權 者	公 告 抜 萃
127728	微粒炭塵燃料製造法	吉 田 淺 次 郎	な し
127767	重油助燃劑	武 田 太 助	〃
127841	含タングステン錫鑛 製煉方法の改良	三 菱 鑛 業 株 式 會 社	〃
127842	硫黄製煉裝置	村 本 富 德	〃
127854	煉炭製造法	旭電化工業株式會社	〃
127894	銅或は青銅に珪素を 滲透合金したる耐酸 製品の製造法	泉 量 一	〃

127984	鑛物質硫化物を焙燒 して硫酸鹽を製する 裝置	ゼ・コンソリデーテッド・マイ ニング・エント・スメルチング・ コムパニー・オブ・カナダ・リミ テッド	な し
127985	鑛物質硫化物を瓦斯 中に懸吊せしめ焙燒 する裝置	ゼ・コンソリデーテッド・マイ ニング・エント・スメルチング・ コムパニー・オブ・カナダ・リミ テッド	〃
128071	金屬表面處理方法	東京電氣株式會社	第24年10號
128079	フレンヂ附金屬鏡の 製造方法	〃	な し
128113	雲母の浮游選鑛法	藤 盛 光 雄	〃
128129	コークス製造方法	河西コークス製造株 式會社	〃
128130	〃	〃	〃
128152	亜鉛電熱製錬法	田 丸 節 郎	〃
128161	珪素-アルミニウム- 鐵合金を全成分又は 主成分として使用す る壓粉磁性心の製造 方法	金屬材料研究所長	第24年11號
128280	煉炭用粘結劑の製造 方法	安 福 平 な	な し
128233	硝子又は硝子質物に 金屬又は陶磁製品を 熔融接合する方法の 改良	加藤與五郎 外2名	〃
128273	鹽基性耐火煉瓦を使 用する鹽基性製鋼爐 天井築爐法	沖本 雄三 外2名	第22年11號
128276	硫黄製煉裝置	村 本 富 德	な し
128277	硫黄製煉裝置	〃	〃